

公民学連携強化に係る検討状況について

1 検討の背景・目的

上野地区は、歴史、文化・芸術、緑、個性ある商業地など、多様な魅力が集積するエリアであるが、取り巻く環境が変化する中、将来にわたる持続的な発展には、これらの豊富な資源を活かし、更なる魅力の創出・発信を図っていく必要がある。

そのため、上野地区まちづくりビジョンでは、「杜とまちで活躍するまちづくりの担い手（以下「プレイヤー」という。）の融合が新たな魅力を創出し、その魅力に惹き付けられた新たなプレイヤーとの融合が更なる相乗効果を生み出す無限に成長するまちの実現」を掲げている。

そこで、公民学の連携を強化し、上野の資源・人・活動をつなぐことで、多様なプレイヤーが活躍し、相互の連携・協働から新たな活動や価値が生まれる環境を整える。これにより、まちづくり活動（以下「活動」という。）を推進し、上野が有する多様な魅力をさらに高め、地域の持続的な発展や国際競争力の強化につなげていく。

2 まちづくり活動の現状・課題

上野地区では、様々なプレイヤーによる魅力的な活動が展開されている一方、それぞれの活動や人材、知見等を十分に活かしきれていない状況にある。

多様なプレイヤーの活躍や活動同士の連携・協働を促進していく上で、主に以下の課題に対応していく必要がある。

- ・各活動の情報やノウハウの共有・蓄積、活動間の連携が十分ではない
- ・地域に関心を持つ人が、地域とつながり、活動に参画する機会が十分ではない
- ・関係機関との協議・調整や各種手続きが活動主体の負担となっている
- ・エリアの特性や地域の魅力を活かした継続的な公共空間等の活用が十分ではない

3 公民学の連携強化に向けた取組

現在、既存のまちづくり団体等と連携しながら、多様なプレイヤーが所属や立場を超えてつながり、交流・対話、連携・協働できる環境の形成に向け、「開かれた場」の試行開催、未来ビジョンの検討、公民学連携体制の検討に取り組んでいる。

(1)「開かれた場：つぐつぐ上野セッション」の試行開催

多様なプレイヤーの活動への参画促進や顔の見える関係の構築、上野の価値・魅力を高める活動の共創を目的に、公民学の連携により、誰もが参加できる「つぐつぐ上野セッション」を試行的に開催した。

○開催概要

- ・日 時 令和8年7月16日（木）18:00～19:20（交流会 19:30～20:30）
- ・参加者 136名（主に地域の方々、まちづくり関係者、民間事業者、学生）
- ・実施内容 これまでの活動、上野の価値・魅力、公民学連携への期待の共有、参加者同士の交流
- ・アンケート結果 ※回答数50



・当日の様子



○今後の取組

「開かれた場」を随時試行的に開催しながら、実施内容や持続可能な運営体制の検討に取り組んでいく。

【今後の開催予定】

- ・日 時 令和8年10月22日（木）18:00～19:20（交流会 19:30～20:30）
11月26日（木）18:00～19:20（交流会 19:30～20:30）
- ・主なテーマ 「私を告ぐ」～上野で活躍する、あの人と上野を知る～
※それぞれの回ごとに異なる方数名が登壇予定。

(2)未来ビジョン(「上野らしい未来」をつくるための具体の指針)の検討

多様なプレイヤーと将来像を共有しながら、上野の価値・魅力を高める活動を重層的・持続的に展開していけるよう、上野が大切にしてきた価値観や望ましい活動、公共空間等の活用方針を示す「未来ビジョン」の策定に向け、公民学による検討に取り組んでいる。

【未来ビジョンの主な役割(案)】

①上野らしさを「継承する・蓄積する」

→上野が大切にしてきた価値観や歴史・文化、暮らし、界隈性等を継承し、上野のアイデンティティを次世代につなぐ

②上野らしい活動を「選ぶ・育む」

→上野らしさや新たなつながり・挑戦等の視点から、将来像の実現に向けて応援・支援したい活動を選び、育むための指針とする

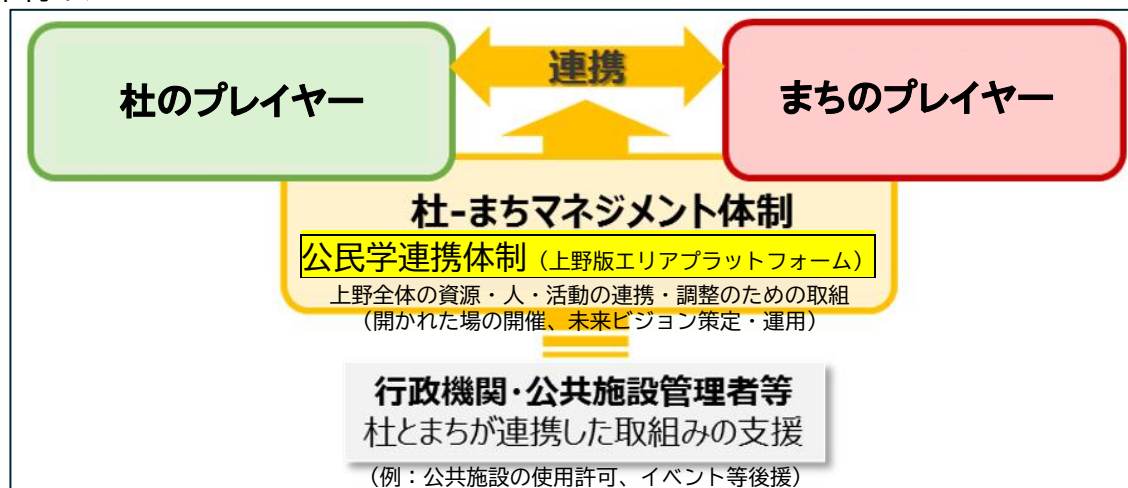
③上野らしさを「空間に表す」

→場所ごとの特徴や役割、望ましい使われ方等を踏まえた公共空間等の活用方針を示し、公共空間等を「消費する場」から「創造・挑戦の場」へ転換する

(3)公民学連携体制の検討

既存まちづくり団体を核とした実効力のある体制について、関係者と議論しながら必要な条件や制度・仕組み等の検討を進めている。

○体制イメージ



※上野地区まちづくりビジョン抜粋(一部加筆修正)

○役割・機能

「開かれた場」の開催や「未来ビジョン」の策定・運用を核として、上野の資源・人・活動をつなぎ、多様なプレイヤーの活躍や活動同士の連携・協働を促す環境を整える。これにより、上野らしい公共空間等の活用を促進するとともに、上野の価値・魅力を高める民間主導の活動が持続的に展開される仕組みづくりを推進する。

4 今後の予定

令和8年10月以降

開かれた場の試行開催(数回程度)

未来ビジョン及び公民学連携体制の検討